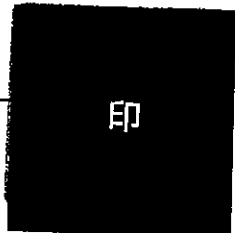


近畿厚生局長 殿

京都府公立大学法人  
理事長 荒巻 禎



京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	216 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	220 人	286 人	506.0 人	看護補助者	39 人	診療エックス線技師	0 人
歯科医師	5 人	25 人	30.0 人	理学療法士	11 人	臨床検査技師	52 人
薬剤師	31 人	18 人	37.7 人	作業療法士	6 人	臨床衛生検査技師	0 人
保健師	0 人	0 人	0.0 人	視能訓練士	10 人	その他	0 人
助産師	0 人	0 人	0.0 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧	0 人
看護師	710 人	51 人	740.9 人	臨床工学技士	9 人	医療社会事業従事者	1 人
准看護師	1 人	2 人	2.4 人	栄養士	7 人	その他の技術員	18 人
歯科衛生士	2 人	2 人	3.5 人	歯科技工士	2 人	事務職員	84 人
管理栄養士	4 人	1 人	4.7 人	診療放射線技師	37 人	その他の職員	26 人

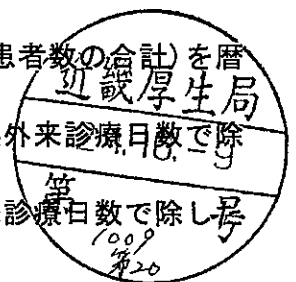
- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	660.0 人	2.6 人	662.6 人
1日当たり平均外来患者数	1,831.9 人	143.6 人	1,975.5 人
1日当たり平均調剤数	入院：2,125.2劑、 外来：263.1劑		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	19人
末梢血単核球細胞移植による慢性閉塞性動脈硬化症等に対する血管再生治療	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	9人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	14人
膀胱尿管逆流症及び巨大尿管症に対する腹腔鏡下膀胱内手術	19人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	69人
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	4人
泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	3人
先天性難聴の遺伝子診断	1人
前眼部三次元画像解析	2人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	5人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	152人	・膿疱性乾癬	12人
・多発性硬化症	67人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・重症筋無力症	156人	・原発性胆汁性肝硬変	206人
・全身性エリテマトーデス	659人	・重症急性膵炎	18人
・スモン	4人	・特発性大腿骨頭壊死症	255人
・再生不良性貧血	90人	・混合性結合組織病	111人
・サルコイドーシス	291人	・原発性免疫不全症候群	13人
・筋萎縮性側索硬化症	26人	・特発性間質性肺炎	27人
・魚皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	352人	・網膜色素変性症	100人
・特発性血小板減少性紫斑病	135人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	75人	・肺動脈性肺高血圧症	116人
・潰瘍性大腸炎	296人	・神経線維腫症	80人
・大動脈炎症候群	33人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	46人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	4人
・天疱瘡	42人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3人
・脊髄小脳変性症	65人	・ライソゾーム病	29人
・クローン病	83人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	8人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	37人	・脊髄性筋萎縮症	6人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	328人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
		・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	25人
・アミロイドーシス	75人	・肥大型心筋症	168人
・後縦靭帯骨化症	163人	・拘束型心筋症	1人
・ハンチントン病	4人	・ミトコンドリア病	6人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	38人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	38人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	119人	・黄色靭帯骨化症	46人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	23人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	253人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 胎児心超音波検査	・
・ 悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・ 膀胱尿管逆流症及び巨大尿管症に対する腹腔鏡下膀胱内手術	・
・ 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・ 先天性難聴の遺伝子診断	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1箇月に12回程度開催
剖 検 の 状 況	剖検症例数 31 例 / 剖検率 13.50%

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規の心筋解糖系シグナルソームの発見とインスリン抵抗性心不全病態のエネルギー代謝	松原 弘明	循環器・腎臓内科	66,300,000	補委 文部科学省
メタボリック症候群と心筋エネルギー代謝制御を横断する新メカニズムと治療応用	松原 弘明	循環器・腎臓内科	2,340,000	補委 文部科学省
患者心臓幹細胞と人工心臓の心不全臨床試験	松原 弘明	循環器・腎臓内科	54,662,518	補委 JST
p53を介したミトコンドリアエネルギー代謝バランス制御による心不全治療研究	的場 聖明	循環器・腎臓内科	910,000	補委 文部科学省
脂肪酸結合蛋白の発現調節機構を標的とした病的肝臓由来の新規動脈硬化促進因子の同定	山田 浩之	循環器・腎臓内科	910,000	補委 文部科学省
心不全の基礎疾患と病期を考慮した新しい包括的心不全治療法の開発	浅沼 博司	循環器・腎臓内科	2,340,000	補委 文部科学省
MURCによる心筋細胞のカベオラとトランスポートソームの制御機構の解明	上山 知己	循環器・腎臓内科	1,950,000	補委 文部科学省
新規遺伝子ARIAによる血管新生・血管発生制御機構の解明と虚血性疾患への治療応用	池田 宏二	循環器・腎臓内科	2,860,000	補委 文部科学省
ヒト心筋分化誘導因子の同定-誘導メカニズムの解明-	上 大介	循環器・腎臓内科	374,930	補委 文部科学省
圧負荷心筋の代償性肥大の破綻を引き起こすエピジェネティックな遺伝子発現調節の解明	本庄 尚謙	循環器・腎臓内科	1,560,000	補委 文部科学省
血管新生、糖代謝メカニズムにおける新規遺伝子MURCの機能解明	天野 克也	循環器・腎臓内科	2,730,000	補委 文部科学省
心筋細胞特異的新規ERタンパクの同定と心筋細胞分化・心不全発症における機能解析	高橋 知三郎	循環器・腎臓内科	1,300,000	補委 文部科学省
加齢指標蛋白質SMP30の糖尿病合併症発症における役割	長谷川剛二, 福井道明	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,120,000	補委 日本学術振興会
実践的前向調査による糖尿病性腎症のリスクマーカーの実用化	福井道明	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,700,000	補委 A-STEP
京都府下における男性更年期医療の構築-生活習慣病の予防にむけて-	福井道明	内分泌・糖尿病・代謝内科	800,000	補委 京都府
悪性リンパ腫に対する最適化されたモノクローナル抗体併用療法の開発による標準的治療法の確立	谷脇雅史	血液・腫瘍内科	1,000,000	補委 厚生労働省
分子基盤に基づく難知性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発に関する研究	谷脇雅史	血液・腫瘍内科	700,000	補委 厚生労働省
多発性骨髄腫におけるIG転座,PVT1,DCOの分子遺伝学的解析と臨床応用	谷脇雅史	血液・腫瘍内科	700,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
成人T細胞白血病(ATL)のゲノム解析異常に基づく白血病的発症機構の解析	谷脇雅史	血液・腫瘍内科	500,000	補委 文部科学省
創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザイン	谷脇雅史	血液・腫瘍内科	3,000,000	補委 文部科学省
白血病における骨髄微小環境誘導性ガレクチン-3の機能解析と新規分子標的治療の開発	黒田純也	血液・腫瘍内科	1,900,000	補委 文部科学省
再発・難治性骨髄腫に対する至適分子標的療法の確立と生物学的治療予測因子の探索	黒田純也	血液・腫瘍内科	700,000	補委 厚生労働省
慢性骨髄性白血病の病態形成と骨髄白血病ニッチ形成におけるガレクチン-3制御性分子動態の解析	黒田純也	血液・腫瘍内科	3,000,000	補委 持田記念医学薬学振興財団研究助成金
白血病細胞における骨髄腫瘍環境誘導性ガレクチン-3 (Gal-3) のエフェクター分子の解析	杉谷未央	血液・腫瘍内科	500,000	補委 京都府公立大学法人若手研究者育成支援費
シャルコー・マリー・トゥース病の診断・治療・ケアに関する研究	中川正法	神経内科	13,000,000	補委 厚生労働科学研究
重症度別治療指針作成に資すHAMの新規バイオマーカー同定と病因細胞を標的とする新規治療法の開発	中川正法	神経内科	1,500,000	補委 厚生労働科学研究
老化及び老年病に関する長期縦断疫学研究	中川正法	神経内科	1,400,000	補委 長寿医療研究委託費
難治性ニューロパチーの診断技術と治療法に関する研究	中川正法	神経内科	900,000	補委 厚生労働科学研究
神経・筋難病疾患の進行抑制治療効果を得るための新規医療機器、生体電位等で随意コントロールされた下肢装着型補助ロボットに関する治験準備研究	中川正法	神経内科	400,000	補委 厚生労働科学研究
ミトコンドリア病の診断と治療に関する調査研究	中川正法	神経内科	500,000	補委 厚生労働科学研究
希少性難治性疾患患者に関する医療の向上及び患者支援のあり方に関する研究	中川正法	神経内科	700,000	補委 厚生労働科学研究
HTLV-1関連脊髄症(HAM)の新規医薬品開発に関する研究	中川正法	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究
次世代遺伝子解析技術を用いた希少難治性疾患の原因究明及び病態解明に関する研究	中川正法	神経内科	3,000,000	補委 厚生労働科学研究
「わが国で発見された遺伝性運動感覚ニューロパチーの海外学術調査とその病態解明研究	中川正法	神経内科	3,900,000	補委 日本学術振興会
軽度認知機能障害の発生要因に関する前向き追跡研究	中川正法	神経内科	150,000	補委 日本学術振興会
遺伝性脳小血管病の病態機序の解明と治療法の開発	水野敏樹	神経内科	1,300,000	補委 厚生労働科学研究
TGFβ1シグナルによる小脳血管病変発症・脳腎関連の分子機構解明	水野敏樹	神経内科	600,000	補委 日本学術振興会



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経変性疾患に関する調査研究	徳田隆彦	神経内科	1,300,000	補委 厚生労働科学研究
アルファ・シヌクレインオリゴマーの物性・細胞毒性機序の解明と分子標的治療への応用	徳田隆彦	神経内科	1,900,000	補委 日本学術振興会
シャルコー・マリー・トゥース病の診断・治療・ケアに関する研究	滋賀健介	神経内科	1,000,000	補委 厚生労働科学研究
アレキサンダー病の診断基準および治療・ケア指針の作成、病態解明・治療法開発のための研究	吉田誠克	神経内科	13,000,000	補委 厚生労働科学研究
GFAP遺伝子異変によるグリア細胞の機能変化およびその修飾因子の解明	吉田誠克	神経内科	1,600,000	補委 日本学術振興会
新しい脳卒中医療の開拓と均てん化のためのシステム構築に関する研究	富井康宏	神経内科	1,000,000	補委 循環器病研究開発費
5-アミルプリン酸(5-ALA)とリポソーム粒子(LNP)併用による深部微小癌局在診断技術の構築	大辻英吾	消化器外科	6,920,000	補委 JST
新規癌遺伝子による消化器癌の早期診断と化学放射線の感受性予測法の開発	園山輝久	消化器外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
TNF- $\alpha$ とClaudin-1を分子標的とした新規胃癌腹膜播種性転移治療法の開発	内藤和世	消化器外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
新しい胃癌の癌抑制遺伝子RUNX3の細胞分化・癌化機構の解明と診断・治療への応用	阪倉長平	消化器外科	1,040,000	補委 日本学術振興会
消化器癌患者の血漿中遊離核酸を用いたテーラーメイド個別化バイオマーカーの開発	岡本和真	消化器外科	3,250,000	補委 日本学術振興会
消化器癌患者の血漿中遊離核酸を用いた新たな診断法の開発と個別化バイオマーカーの試み	市川大輔	消化器外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
患者の術前・術後 $\beta$ 7血液中遊離microRNAを用いた新診断法による消化器癌診断バイオマーカーの開発	市川大輔	消化器外科	148,336	補委 JST
5-ALA投与後蛍光観察による胃癌手術	中西正芳	消化器外科	2,600,000	補委 日本学術振興会
胃癌における新規アダプター蛋白XB130によるc-Myc発現制御機構の解明	塩崎敦	消化器外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
消化器癌における新規癌関連遺伝子DTLの癌化機構の解明と臨床応用	當麻敦史	消化器外科	1,950,000	補委 日本学術振興会
アクアポリン発現解析に基づく食道癌低浸透圧細胞破壊療法の開発	石井博道	消化器外科	2,340,000	補委 日本学術振興会
消化器癌における新規癌遺伝子SMYD2の癌化機構の解明と臨床応用	小松周平	消化器外科	1,469,000	補委 日本学術振興会
HER2-ErbB2を含むHER2-ErbB2ファミリーによる新規癌治療の開発	伊藤剛	消化器外科	3,250,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新しいステントレス僧帽弁の開発：臨床応用に向けて	夜久均	心臓血管外科	6,900,000	補委 文部科学省
超薄型ポリテトラフルオロエチレン肺動脈弁の開発	山岸正明	心臓血管外科	1,100,000	補委 文部科学省
D. I. Y. Medicine：患者体内で作る自家移植用心臓代用弁の開発	神田圭一	心臓血管外科	4,200,000	補委 文部科学省
患者体内で簡便かつ安全に作成できる『心血管組織補填用自家結合組織シート』の開発	坂井修	心臓血管外科	1,800,000	補委 文部科学省
マルチスライスCTによる複雑心奇形評価と軟性ウレタン樹脂光造形による心模型の開発	前田吉宣	心臓血管外科	1,000,000	補委 文部科学省
生体内組織形成技術を用いたハイブリッド血管内治療デバイスの開発	神田圭一	心臓血管外科	1,300,000	補委 京都市医工薬産学公連携支援オフィス (財)京都高度技術研究所
宿主体内で作製する自家結合組織小口径代用血管の開発	渡辺太治	心臓血管外科	1,700,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
宿主体内で簡便に作製できる自家組織心臓代用弁「バイオステントバルブ」の創出と経カテーテル大動脈弁移植への適応	山南将志	心臓血管外科	899,313	補委 独立行政法人科学技術振興機構
エネルギーデバイスを用いた切離における組織補強素材の検討	島田順一	呼吸器外科	3,640,000	補委 文部科学省
カペシタビンによる手足症候群に対するウラシル外用剤の有効性に関する検討	田口哲也	内分泌・乳腺外科	5,330,000	補委 日本学術振興会
臓器移植におけるマクマクス誘導を目指したIL-10 欠損の解明	吉村了勇	移植・一般外科	3,900,000	補委 日本学術振興会
前臨床大動物モデルを用いた加齢退縮胸腺の若年化による免疫寛容誘導能の再賦活化戦略	昇修治	移植・一般外科	5,600,000	補委 日本学術振興会
生体肝移植乳児症例における免疫抑制両方の長期における成長・免疫機能への影響についての研究	岡島英明	移植・一般外科	500,000	補委 日本学術振興会
リンパ浮腫治療法開発のための脂肪由来幹細胞に関する基礎的研究	西野健一	形成外科	1,600,000	補委 文部科学省
医療応用に向けた移植脂肪由来幹細胞の生体内動態と末梢神経再生促進メカニズムの解明	素輪善弘	形成外科	1,300,000	補委 文部科学省
特発性大腿骨頭壊死症の診断・治療・予防法の開発を目的とした全国学際的研究	久保俊一	整形外科	2,000,000	補委 厚生労働省
変形性関節症に対する薬剤併用温熱療法の開拓	久保俊一	整形外科	1,700,000	補委 文部科学省科学
足部疾患に対する3次元動態解析法の確立—足部疾患患者の歩行改善を目指して—	徳永大作	整形外科	900,000	補委 文部科学省科学
末梢神経再生におけるグルココルチコイド作用の蛍光イメージング解析	藤原浩芳	整形外科	1,100,000	補委 文部科学省科学

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
関節リウマチに対する新たな治療標的としてのconnexin43の可能性	寺内 竜	整形外科	1,300,000	補委 文部科学省科学
ビスホスフォネートと放射線併用療法による臨床応用へ向けた骨軟部肉腫治療法の開発	村田 博昭	整形外科	1,200,000	補委 文部科学省科学
拡散テンソル法を用いた末梢神経再生に対する非侵襲的診断法の確立にむけた基礎的研究	小田 良	整形外科	1,300,000	補委 文部科学省科学
Evaluation of MRP 8/14 as a marker of synovitis in RA patients.	小田 良	整形外科	950,000	補委 Pfizer Investigator-Initiated Research
物理刺激による骨芽細胞の応答メカニズムの解明-メカニカルストレスと微弱電流刺激	金 郁 詰	整形外科	1,000,000	補委 文部科学省科学
自家多血小板血漿を用いた椎間板再生法-臨床応用に向けた安全性の検証-	三上 靖 夫	整形外科	1,100,000	補委 文部科学省科学
生体吸収材料および成長因子を用いた肩腱板修復促進法の開発	森 原 徹	整形外科	1,100,000	補委 文部科学省科学
P53-RB経路を標的とした悪性軟部腫瘍に対する遺伝子調節化学療法	辻 吉 郎	整形外科	1,200,000	補委 文部科学省科学
子宮内膜症性嚢胞の悪性転化に伴う癌関連遺伝子近傍の遺伝子変異の解析	北 脇 城	女性生涯科学	500,000	補委 文部科学省
組織マイクロアレイを用いた子宮肉腫における分子標的マーカーの同定	澤田 守 男	女性生涯科学	500,000	補委 文部科学省
子宮内膜癌における新たなエストロゲン受容体伝達調節機序の解明と内分泌治療への展開	森 泰 輔	女性生涯科学	2,700,000	補委 文部科学省
京都府におけるクラミジア頸管炎症例でのクラミジア直腸炎の合併の実態調査	岩 破 一 博	女性生涯科学	800,000	補委 京都市
患者負担の少ない子宮体癌特異的バイオマーカーの同定と新たな予後因子の検討	黒 星 晴 夫	女性生涯科学	200,000	補委 財団法人京都予防医学センター
難治性横紋筋肉腫の病態に基づいた新規診断・治療法の開発	細 井 創	小児発達医学	2,700,000	補委 文部科学省
iPS細胞技術を用いた腫瘍幹細胞のリプログラミングによる小児難治性肉腫の治療研究	細 井 創	小児発達医学	300,000	補委 文部科学省
血液中遊離核酸(miRNA)を用いた癌診断のための核酸抽出キットの開発	細 井 創	小児発達医学	2,772,000	補委 平成23年度戦略的基盤技術高度化支援事業
分子プロファイリングによる新規標的の同定を通じた難治がん治療法開発	細 井 創	小児発達医学	1,000,000	補委 平成23年度次世代がんプロジェクト委託事業
血清診断を用いた、神経芽腫早期例に対する無治療経過観察の確立	家 原 知 子	小児発達医学	1,000,000	補委 財団法人がんの子供を守る会
神経芽腫における標準治療の確立と新規治療の開発に関する研究	家 原 知 子	小児発達医学	350,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
胎児型横紋筋肉腫に認めた新規融合遺伝子の機能解析と病態解明	土屋邦彦	小児発達医学	900,000	補委 文部科学省
hSNF5の標的遺伝子の同定とその転写制御メカニズムの解明	栗原康通	小児発達医学	1,050,000	補委 文部科学省
Phox2b遺伝子恒常的活性化による神経芽腫の分化障害の機能解明	柳生茂希	小児発達医学	600,000	補委 文部科学省
癌特異的融合遺伝子を標的とした新しい作用機序の分子標的治療薬の開発	宮地 充	小児発達医学	1,000,000	補委 京都府公立大学法人
小児在宅医療の地域連携支援モデル構築	三沢あき子	小児発達医学	1,300,000	補委 勇美記念財団
難治性川崎病における血小板蛋白の網羅的解析と新しい標的治療のための萌芽的検討	秋岡親司	小児発達医学	800,000	補委 文部科学省
MLL再構成陽性急性骨髄性白血病の新規治療標的の検索	今村俊彦	小児発達医学	1,600,000	補委 文部科学省
乳児ランゲルハンス細胞組織球症の標準治療の確立と新規治療法の開発	今村俊彦	小児発達医学	700,000	補委 厚生労働省
京都府北部における小児神経疾患の実態調査研究	森本昌史	小児発達医学	100,000	補委 平成23年度地域関連課題等研究支援費
京都府北部における小児神経疾患の実態調査研究	千代延友裕	小児発達医学	100,000	補委 平成23年度地域関連課題等研究支援費
チアノーゼ型疾患モデル再灌流心筋の酸化ストレスに対するカルニチンの効果	糸井 利幸	小児循環器・腎臓科	1,430,000	補委 日本学術振興会
Apelin-APJ systemを標的とした腎臓維化治療の検討	西田 眞佐志	小児循環器・腎臓科	1,300,000	補委 日本学術振興会
川崎病血管炎から動脈硬化性病変への進展に関する増悪メカニズムを探る	河井 容子	小児循環器・腎臓科	1,330,000	補委 日本学術振興会
難治性川崎病における血小板蛋白質の網羅的解析と新しい標的治療のための萌芽的検討	濱岡 建城	小児循環器・腎臓科	1,820,000	補委 日本学術振興会
リピドーム検索を用いた先天性心疾患心虚血再灌流障害時のエネルギー代謝に関する研究	岡 達二郎	小児循環器・腎臓科	2,340,000	補委 日本学術振興会
動物モデルを用いた川崎病血管炎発症メカニズムに関する分子免疫学的研究	中村 明宏	小児循環器・腎臓科	1,950,000	補委 日本学術振興会
川崎病冠動脈病変の進展抑制に向けた血管機能および薬剤作用機序に基づく抗血小板療法確立	濱岡 建城	小児循環器・腎臓科	1,000,000	補委 宮田心臓病研究振興基金
角膜上皮細胞の細胞特性の規定するコア転写因子群の同定	木下 茂	眼科	7,150,000	補委 文部科学省基盤研究B
細胞質内ウイルス認識機構RIG-Iファミリーによる眼表面感染防御機構の解明	木下 茂	眼科	1,170,000	補委 文部科学省挑戦的萌芽研究

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
SJS/TENの発症機序解明および発症予測に向けた先駆的研究	外園 千恵	眼科	6,370,000	補委 文部科学省基盤研究B
環境調整を加味したロービジョンケアプログラムの有効性	外園 千恵	眼科	500,000	補委 文部科学省基盤研究B
涙液中アミノ酸発現が眼表面疾患の病態に及ぼす影響	外園 千恵	眼科	1,950,000	補委 文部科学省挑戦的萌芽研究
酸化ストレスが落屑緑内障線維柱帯ならびに水晶体・虹彩上皮細胞に与える影響の検討	森 和彦	眼科	1,300,000	補委 文部科学省基盤研究C
ステロイド緑内障発症におけるエピジェネティック因子の解析	森 和彦 川崎 諭	眼科	100,000 100,000	補委 文部科学省基盤研究C
培養口腔粘膜上皮による眼表面再構築と上皮分化制御による視機能再生への展開	稲富 勉	眼科	1,950,000	補委 文部科学省基盤研究C
TACSTD2遺伝子による上皮タイトジャンクション機能制御機構の解明	川崎 諭	眼科	1,170,000	補委 文部科学省基盤研究C
線維柱帯分化マーカーの同定とそれに基づくヒトiPS細胞からの線維柱帯細胞の創出	上野 盛夫	眼科	1,820,000	補委 文部科学省若手研究B
マクロファージを標的とした新しい眼炎症疾患に対する治療	丸山 和一	眼科	1,950,000	補委 文部科学省基盤研究C
近赤外光眼底自発蛍光撮影を応用した網膜色素上皮の超早期機能異常検出法の確立	古泉 英貴	眼科	1,690,000	補委 文部科学省若手研究B
角膜内皮のアポトーシス、細胞死の制御による水疱性角膜症に対する新規治療法の開発	奥村 直毅	眼科	1,469,000	補委 文部科学省研究活動スタート支援
癒痕抑制による加齢黄斑変性の新しい治療法の開発	米田 一仁	眼科	1,950,000	補委 文部科学省若手研究B
頸椎捻挫後調節障害の病態解明	関山 英一	眼科	1,820,000	補委 文部科学省若手研究B
角膜内皮の健全性に関与する原始絨毛の存在意義の解明	谷岡 秀敏	眼科	910,000	補委 文部科学省基盤研究C
ドライアイの病態におけるインフラマゾームの関与についての研究	篠宮 克彦	眼科	1,170,000	補委 文部科学省挑戦的萌芽研究
加齢黄斑変性における網膜色素上皮細胞の危機感知機能の解析	羽室 淳爾	眼科	2,340,000	補委 文部科学省基盤研究C
1000Kチップでの落屑緑内障ゲノムワイド関連解析による日本人固有SNPの同定	池田 陽子	眼科	1,950,000	補委 文部科学省基盤研究C
TACSTD2タンパクによるクローディングタンパク分解抑制のメカニズムの解明	中司 美奈	眼科	1,430,000	補委 文部科学省研究活動スタート支援
マイボーム腺および眼表面上皮の性ホルモンによる機能変化に関わる研究	鈴木 智	眼科	1,430,000	補委 文部科学省研究活動スタート支援

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
特発性周辺部角膜潰瘍の診断および治療に関する研究	外園 千恵	眼科	10,000,000	補 厚生労働省厚生 労働科学研究費 補助金 難治性 疾患克服研究事 業 委
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	外園 千恵	眼科	11,000,000	補 厚生労働省厚生 労働科学研究費 補助金 難治性 疾患克服研究事 業 委
偽落屑角膜内皮症の実態把握と診断基準確立のための研究	外園 千恵	眼科	500,000	補 厚生労働省厚生 労働科学研究費 補助金 難治性 疾患克服研究事 業 委
特発性角膜内皮炎の診断および治療方針の確立に関する研究	稲富 勉	眼科	10,000,000	補 厚生労働省厚生 労働科学研究費 補助金 難治性 疾患克服研究事 業 委
Fuchs角膜内皮変性症および関連疾患に関する調査研究	稲富 勉	眼科	700,000	補 厚生労働省厚生 労働科学研究費 補助金 難治性 疾患克服研究事 業 委
膠様滴状角膜変性症の標準的治療レジメンの確立と新規治療法の創出	川崎 諭	眼科	10,000,000	補 厚生労働省厚生 労働科学研究費 補助金 難治性 疾患克服研究事 業 委
視覚機能再生研究における国際的・統合的視野を持つ橋渡し研究推進者の育成	木下 茂	眼科	3,541,000	補 若手研究者海外 派遣事業・組織 的な若手研究者 等海外派遣プロ グラム 委
角膜再生医療の新規基盤技術開発を旨とした角膜幹細胞の細胞動態	木下 茂	眼科	4,900,000	補 科学技術振興機 構 戦略的国際 科学技術協力推 進事業「日本- スイス研究交 流」 委
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮再生医療の実現化	木下 茂	眼科	83,750,000	補 国家基幹研究開 発推進事業 再 生医療の実現化 プロジェクト 再生医療の実現 化ハイウェイ 委

小計

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Rhoキナーゼ阻害剤を用いた角膜内皮治療薬の開発	木下 茂	眼科	2,292,000	補 科学技術振興機構 研究成果最 適展開支援プロ グラム ハイリ スク挑戦タイプ 委
重症薬疹の発症予測に有用な普及型鑑別診断法の開発	外園 千恵	眼科	1,000,000	補 科学技術振興機構 研究成果展 開事業 研究成 果最適展開支援 プログラム シーズ顕在化タイプ 委
メタボローム解析に基づくアミノ酸含有人工涙液の開発	外園 千恵	眼科	1,310,000	補 科学技術振興機構 研究成果展 開事業 研究成 果最適展開支援 プログラム 探 索タイプ 委
遺伝子・細胞操作を駆使したヒトES/iPS細胞利用基盤技術の開発	上野 盛夫	眼科	2,500,000	補 科学技術振興機構 研究成果展 開事業 戦略的 イノベーション 創出推進プログラ ム 委
視覚障害介護対象者の社会生活向上のためのスクレラルレンズの開発	外園 千恵	眼科	2,380,000	補 新エネルギー・開 発機構 健康安 心イノベーション プログラム 「福祉用具実用 化 開発推進事 業」 委
高齢者の感覚器機能低下などに対する実施把握と予防・治療法の標準化に関する研究	木下 茂	眼科	14,000,000	補 国立長寿医療研 究センター 長 寿医療研究開発 費 委
皮膚バリア障害によるアレルギーマーチ発症機序解明に関する研究	加藤 則人	皮膚科学	2,000,000	補 厚生労働省 委
血小板を介する皮膚の炎症反応の制御・収束機構の解明	加藤 則人	皮膚科学	1,100,000	補 文部科学省 委
遺伝子導入マクロファージを用いた難治性皮膚潰瘍に対する細胞移植治療に関する研究	竹中 秀也	皮膚科学	1,000,000	補 文部科学省 委
男性型脱毛症とアンドロゲンレセプター遺伝子のプロモーター環境との関連に対する研究	野見山 朋子	皮膚科学	900,000	補 文部科学省 委
自己末梢血由来培養マクロファージ移植による術後リンパ浮腫治療に関する基礎研究	浅井 純	皮膚科学	1,700,000	補 文部科学省 委
スタチン外用による難治性皮膚潰瘍の新規治療法の開発	浅井 純	皮膚科学	1,700,000	補 科学技術振興機 構(JST) 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
スタチンによるリンパ管新生を介した難治性皮膚潰瘍治療の基礎研究	嵯岡理沙	皮膚科学	1,400,000	補委 文部科学省
血小板の機能制御による炎症性皮膚疾患の新規の治療法の開発	嵯岡理沙	皮膚科学	1,700,000	補委 科学技術振興機構(JST)
アンドロゲン受容体新規転写共役抑制因子を介した精巣腫瘍発生の分子機構の解析	三木恒治	泌尿器科	6,600,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
イオン輸送体を分子標的としたホルモン不応性前立腺癌新規治療薬の開発	三木恒治	泌尿器科	1,500,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
Body-GPSを導入した4次元手術ナビゲーションシステムの開発	高羽夏樹	泌尿器科	1,700,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
3次元空間位置認識システムを適応したテンプレート前立腺生検法の開発	沖原宏治	泌尿器科	500,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
前立腺局所療法のためのがん病巣および治療範囲の双方向性マッピング法の開発	嶋井和実	泌尿器科	3,900,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
再生基質に羊膜を用いた尿路再生	内藤泰行	泌尿器科	1,000,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
精巣腫瘍における癌精巣抗原の発現パターンの解析とその予後予測への応用	中村晃和	泌尿器科	1,700,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
Lo-MYCマウスを用いた前立腺癌のChemoprevention	岩田健	泌尿器科	1,200,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
マウス片側尿管閉塞モデルを用いたMRTF分子を介する新しい腎間質線維化機構の解明	木村泰典	泌尿器科	1,700,000	補委 独立行政法人科学技術振興機構
喉頭神経制御機構の解明とその障害への対応に関する総合的研究	久育男	耳鼻咽喉科	2,990,000	補委 日本学術振興会
蝸牛グルコースイメージングを用いた内耳性難聴発症機序の解明	鈴木敏弘	耳鼻咽喉科	650,000	補委 日本学術振興会
喉頭挙上筋障害時における残存筋機能制御様式の変化に関する研究	馬場均	耳鼻咽喉科	780,000	補委 日本学術振興会
発生期内耳有毛細胞の形態形成に関する研究	坂口博史	耳鼻咽喉科	2,080,000	補委 日本学術振興会
頭頸部扁平上皮癌に対するサイトカイン免疫遺伝子治療の開発	中野宏	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委 日本学術振興会
喉頭における自律神経系受容体の時間特異的発現と時計遺伝子による制御機構の解明	西尾健志	耳鼻咽喉科	1,820,000	補委 日本学術振興会
傾斜視覚刺激の効果—動方向攪乱刺激の影響と適応戦略の検討—	長谷川達央	耳鼻咽喉科	1,820,000	補委 日本学術振興会
筋萎縮性側索硬化症における嚥下障害の病態解明—マウスモデルを用いて—	斉藤敦志	耳鼻咽喉科	1,950,000	補委 日本学術振興会



研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
有機溶剤初期乱用者の病態に関する神経科学的研究および治療薬の開発	福居 顯二	精神科・心療内科	1,400,000	補委 文部科学省
数理モデル解析を用いた機能的MRIによる強迫性障害の意思決定神経基盤の解明	成 本 迅	精神科・心療内科	1,400,000	補委 文部科学省
報酬予測課題遂行における神経ネットワークの解明	成 本 迅	精神科・心療内科	220,800	補委 自然科学研究機構生理学研究所
強迫性障害における時間割引率の脳内メカニズムの解明	成 本 迅	精神科・心療内科	3,000,000	補委 大阪大学社会経済研究所
育児期の女性における不安・抑うつと虐待危険性に関する精神医学的研究	崔 炯 仁	精神科・心療内科	1,000,000	補委 文部科学省
摂食障害患者の病態・診断に関する脳神経画像研究	西 澤 晋	精神科・心療内科	500,000	補委 京都府公立大学法人
乳がん患者の家族内役割と精神症状・QOLについての研究	羽 多 野 裕	精神科・心療内科	950,000	補委 阪本精神病理学研究所
急性肺損傷における肺上皮被覆液プロテオームの解析	佐 和 貞 治	麻酔科	1,400,000	補委 文部科学省
mTORを介した末梢神経プロテオームの変化による疼痛発症のメカニズム解析	天 谷 文 昌	麻酔科	1,900,000	補委 文部科学省
好中球の転写因子C/EBP $\beta$ に着目した肺血症性急性肺損傷の病態解析	志 馬 伸 朗	麻酔科	1,700,000	補委 文部科学省
遺伝子ノックダウン手法を用いた血小板細胞死がもたらす敗血症増悪病態の解明	中 嶋 康 文	麻酔科	1,700,000	補委 文部科学省
心肺補助循環時の血小板減少症の機序解明と生理活性物質による予防法・治療法の開発	加 藤 祐 子	麻酔科	2,400,000	補委 文部科学省
人工心肺手術周術期の可逆的血小板機能低下と細胞死に及ぼす細胞内シグナリングの解明	影 山 京 子	麻酔科	100,000	補委 日本学術振興会
一側肺換気が急性肺損傷に及ぼす影響についての検討	上 野 博 司	麻酔科	900,000	補委 文部科学省
上皮間葉相互移行を標的とした急性肺損傷後の上皮修復メカニズムの解明と治療への応用	橋 本 壮 志	麻酔科	1,500,000	補委 文部科学省
単球系細胞のPPAR $\gamma$ 活性化による敗血症病態の解明と新しい治療法の開発	深 澤 ま ど か	麻酔科	2,500,000	補委 文部科学省
RNA干渉法による周術期心筋障害におけるオートファジーとアポトーシスの役割の解明	早 川 由 夏	麻酔科	800,000	補委 日本学術振興会
痛覚過敏に於る $\beta$ アドレナリン受容体の細胞内シグナリングのメカニズムの解明	高 取 真 由 美	麻酔科	800,000	補委 文部科学省
活性化グリアが敗血症性脳症発症にはたす役割の解明	竹 下 淳	麻酔科	1,200,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
敗血症での血糖値が単球系細胞のオートファジー、アポトーシス変化と予後へ及ぼす影響	中山力恒	麻酔科	800,000	補 委 文部科学省
細胞外ATP測定を応用した人工呼吸関連肺損傷の病態解析	松山広樹	麻酔科	700,000	補 委 文部科学省
痛覚過敏におけるトロンボモジュリンの細胞内シグナリングのメカニズム解明	柴崎雅志	麻酔科	1,050,000	補 委 日本学術振興会
羊膜上培養自己口腔粘膜上皮シートが多様な臨床応用に関する研究	金村成智	歯科	1,300,000	補 委 日本学術振興会
臨床応用を念頭に置いた羊膜を基質とした培養歯髄由来細胞シートの開発	山本俊郎	歯科	1,820,000	補 委 日本学術振興会
臨床応用を目指した羊膜を基質とした培養歯根膜由来細胞シートの開発に関する研究	雨宮傑	歯科	1,040,000	補 委 日本学術振興会
超薄型ポリテトラフルオロエチレン肺動脈弁の開発	山岸正明	小児心臓血管外科	1,100,000	補 委 文部科学省
マルチスライスCTによる複雑心奇形評価と軟性ウレタン樹脂光造形による心模型の開発	前田吉宣	小児心臓血管外科	1,000,000	補 委 文部科学省
骨髄球系抑制細胞の産生機構とIL-17の関与の解明	稲葉亨	臨床検査部	1,300,000	補 委 日本学術振興会
				補 委

小計  
9  
計  
200

(注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
ANGIOTENSIN RESEARCH	心房細胞のアップストリーム治療は有効か	加藤 拓、山田 浩之、松原 弘明	循環器・腎臓内科
スタチンと血管	血管平滑筋細胞の老化とスタチン	池田 宏二、栗本 律子、松原 弘明	循環器・腎臓内科
血栓と循環	内皮前駆細胞を捕捉するGenousステントを非選択的に使用した場合の一年間の臨床的予後の検討	中村 猛、松原 弘明	循環器・腎臓内科
Medical Science Digest	心筋幹細胞を用いた心筋再生療法の現状	竹原 有史、松原 弘明	循環器・腎臓内科
CURRENT THERAPY	急性冠症候群への再生医療	片村 真紀、大川 善文、的場 聖明、松原 弘明	循環器・腎臓内科
Nihon Rinsho	Cardiac regeneration therapy to ischemic cardiomyopathy	Takehara Naofumi, Hiroaki Matsubara	循環器・腎臓内科
Int Heart J	Effect of cardiologist experience on outcomes of patients with ST-elevated myocardial infarction treated with primary PCI in a local area in Japan.	辰巳 哲也、松原 弘明	循環器・腎臓内科
Nihon Rinsho	Treatment of hypertension in patients with diseases of the aorta and peripheral arteries.	加藤 拓、松原 弘明	循環器・腎臓内科
Int J Cardiovasc Imaging	Myocardial perfusion abnormality in the area of ventricular septum-free wall junction and cardiovascular events in nonobstructive hypertrophic cardiomyopathy.	階元 聡、松原 弘明	循環器・腎臓内科
Int J Cardiol	Antiarrhythmic agent cibenzoline attenuates latent obstruction in the left ventricular outflow tract of hypertrophic cardiomyopathy.	野村 哲矢、松原 弘明	循環器・腎臓内科
J Cardiol	Systolic blood pressure at admission, clinical manifestations, and in-hospital outcomes in patients with acute myocardial infarction.	白石 淳、松原 弘明	循環器・腎臓内科
Circ J	Enhanced cardiovascular protective effects of valsartan in high-risk hypertensive patients with left ventricular hypertrophy-sub analysis of the KYOTO HEART STUDY.	白石 淳、松原 弘明	循環器・腎臓内科
Arterioscler Thromb Vasc	Early Inflammatory Reactions in Atherosclerosis Are Induced by Proline-Rich tirpsine kinase/reactive oxygen species-mediated release of tumor necrosis factor-(alpha) and subsequent activation of the p21Cip1/Ets-1/p300system.	勝目 あさ子、松原 弘明	循環器・腎臓内科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Echocardiogr	Three-dimensional transoesophageal echocardiography in detailed evaluation of cor triatriatum.	岩村 優美、松原 弘明	循環器・腎臓内科
Proc Natl Acad Sci USA	Apoptosis regulator through modulating IAP expression (ARIA) controls the P13K/Akt pathway in endothelial and endothelial progenitor cells.	小出 正洋、松原 弘明	循環器・腎臓内科
Heart Vessels.	Clinical characteristics of silent myocardial ischemia diagnosed with adenosine stress (99m)Tc-tetrofosmin myocardial scintigraphy in Japanese patients with acute cerebral infarction.	野村哲矢、松原弘明	循環器・腎臓内科
Hypertension.	Loss of bcl-2 during the senescence exacerbates the impaired angiogenic functions in endothelial cells by deteriorating the mitochondrial redox state.	池田 宏二、松原 弘明	循環器・腎臓内科
Circ Cardiovasc Genet	Molecular genetic and functional characterization implicate muscle-restricted coiled-coil gene (MURC) as a causal gene for familial dilated cardiomyopathy.	上山 知己、松原 弘明	循環器・腎臓内科
Glin Nephrol.	A case of Goodpasture syndrome positive for anti-GBM antibody and MPO-ANCA complicated by a variety of serious infections.	森 泰清、松原弘明	循環器・腎臓内科
Glin J Am Soc Nephrol.	Plasma S100A12 level is associated with cardiovascular disease in hemodialysis patients.	森 泰清、松原弘明	循環器・腎臓内科
Nephron Extra.	Plasma S100A12 levels and peripheral arterial disease in end-stage renal disease.	森 泰清、松原弘明	循環器・腎臓内科
ASAIO J	Left ventricular mechanical support with Impella provides more ventricular unloading in heart failure than extracorporeal membrane oxygenation.	五條 理	循環器・腎臓内科
J Artif Organs.	Tissue engineering and cell-based therapy toward integrated strategy with artificial organs.	五條 理	循環器・腎臓内科
Prehosp Emerg Care.	The Increased Mortality from Witnessed Out-of-Hospital Cardiac Arrest in the Home.	中村猛、沢田尚久、松原弘明	循環器・腎臓内科
Am J Emerg Med.	Circadian, weekly, and seasonal mortality variations in out-of-hospital cardiac arrest in Japan: analysis from AMI-Kyoto Multicenter Risk Study database.	中村猛、沢田尚久、松原弘明	循環器・腎臓内科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J. Gastroenterol. 46(1): 101-107, 2011.	Efficacy of long-term ezetimibe therapy in patients with nonalcoholic fatty liver disease.	福井道明、長谷川剛二、中村直登	内分泌・糖尿病・代謝内科
Clin. Nephrol. 76(4): 284-289, 2011.	Serum accumulation of a creatinine oxidative metabolite (NZ-419: 5-hydroxy-1-methylhydantoin) as an intrinsic antioxidant in diabetic patients with or without chronic kidney disease.	長谷川剛二	内分泌・糖尿病・代謝内科
Asia Pacific Journal of Clinical Nutrition 20: 161-168, 2011.	A simple meal plan of 'eating vegetables before carbohydrate' was more effective for achieving glycemic control than an exchange-based meal plan in Japanese patients with type 2 diabetes.	福井道明、長谷川剛二	内分泌・糖尿病・代謝内科
Biochem. Biophys. Res. Commun. 415(2): 252- 257, 2011.	17 $\beta$ -Estradiol attenuates saturated fatty acid diet-induced liver injury in ovariectomized mice by up-regulating hepatic senescence marker protein-30.	福井道明、長谷川剛二、中村直登	内分泌・糖尿病・代謝内科
J. Atheroscler. Thromb. 18(11): 991- 997, 2011.	Five-item version of the international index of erectile function correlated with albuminuria and subclinical atherosclerosis in men with type 2 diabetes.	福井道明、長谷川剛二、中村直登	内分泌・糖尿病・代謝内科
Diabetes Res. Clin. Pract. 94(1): e15-e18, 2011.	Risk factors for development of diabetes mellitus, hypertension and dyslipidemia.	福井道明、長谷川剛二、中村直登	内分泌・糖尿病・代謝内科
Diabet. Med. 28(1): 96-99, 2011.	Low serum bilirubin concentration in haemodialysis patients with Type 2 diabetes.	福井道明、長谷川剛二、中村直登	内分泌・糖尿病・代謝内科
Hypertens. Res. 34(12): 1271-1275, 2011.	The coefficient variation of home blood pressure is a novel factor associated with macroalbuminuria in type 2 diabetes mellitus.	牛込恵美、福井道明、長谷川剛二、中村直登	内分泌・糖尿病・代謝内科
Heart and Vessels 26(6): 609-615, 2011.	Uncontrolled home blood pressure in the morning is associated with nephropathy in Japanese type 2 diabetes.	牛込恵美、福井道明、長谷川剛二、中村直登	内分泌・糖尿病・代謝内科
Hypertens. Res. 34(3): 336-340, 2011.	Low insulin level is associated with aortic stiffness.	岡田博史、福井道明、長谷川剛二、中村直登	内分泌・糖尿病・代謝内科
Genes Chromosomes Cancer. 50:207-216, 2011年4月	Identification of IGHC $\delta$ -BACH2 fusion transcripts resulting from cryptic chromosomal rearrangements of 14q32 with 6q15 in aggressive B-cell lymphoma/leukemia.	小林 覚	血液・腫瘍内科
Exp Hematol. 39(8):817-828, 2011年8 月	Bcl-2 is a better therapeutic target than c-Myc, but attacking both could be a more effective treatment strategy for B-cell lymphoma with concurrent Bcl-2 and c-Myc overexpression.	佐々木 奈々	血液・腫瘍内科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Proc Natl Acad Sci U S A. 108(42):17468-17473, 2011年10月	Galectin-3 (Gal-3) induced by leukemia microenvironment promotes drug resistance and bone marrow lodgment in chronic myelogenous leukemia.	杉谷 未央	血液・腫瘍内科
Curr Mol Med. 8:678-85, 2011年11月	Cytogenetic and molecular abnormalities in myelodysplastic syndrome.	名越 久朗	血液・腫瘍内科
Int J Hematol. 94(6):567-570, 2011年12月	Intravascular B-cell lymphoma with hypercalcemia as the initial presentation.	知念 良顕	血液・腫瘍内科
Acta Haematol. 126: 8-12, 2011年1月	Cyclosporine A for Chemotherapy-Resistant Subcutaneous Panniculitis-Like T Cell Lymphoma with Hemophagocytic Syndrome.	水谷 信介	血液・腫瘍内科
Acta Neurol Scand 124: 104-108, 2011	Glial fibrillary acidic protein mutations in adult-onset Alexander disease: Clinical features observed in 12 Japanese cases.	Yoshida T	神経内科
J Neurol 258: 1998-2008, 2011	Nationwide survey of Alexander disease in Japan and proposed new guidelines for diagnosis.	Yoshida T	神経内科
Neuropathology [Epub ahead of print], 2011	Clinical aspects and pathology of Alexander disease, and morphological and functional alteration of astrocyte induced by GFAP mutation.	Yoshida T	神経内科
Auton Neurosci 165:195-200, 2011	Circadian rhythm of rest activity and autonomic nervous system activity at different stages in Parkinson's disease.	Niwa F	神経内科
Geriatr Gerontol Int [Epub ahead of print], 2011	Effects of peripheral lymphocyte subpopulations and the clinical correlation with Parkinson's disease.	Niwa F	神経内科
Biochem. Biophys. Res. Commun. 405: 697-702, 2011.	Axotomy induces axonogenesis in hippocampal neurons by a mechanism dependent on Importin $\beta$ .	Ohara R	神経内科
Cell Death Dis. 2, e175, 2011.	Axotomy induces axonogenesis in hippocampal neurons through STAT3.	Ohara R	神経内科
Experimental Neurology [Epub ahead of print], 2011	Transendocytosis is impaired in CADASIL mutant NOTCH3.	Watanabe-Hosomi A	神経内科
Neurosci Lett 494(1):86-88, 2011	Usefulness of serum S100B as a marker for the acute phase of aquaporin-4 autoimmune syndrome.	Fujii C	神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Amyotroph Lateral Scler 12(2):140-143, 2011	Elevated CSF TDP-43 levels in amyotrophic lateral sclerosis: specificity, sensitivity, and a possible prognostic value.	Noto Y	神経内科
Glin Neurophysiol 123(2):382-5, 2011	Awaji ALS criteria increase the diagnostic sensitivity in patients with bulbar onset.	Noto Y	神経内科
Glin Neurophysiol 122(12):2512-2517, 2011	Activity-dependent changes in impulse conduction of single human motor axons: a stimulated single fiber electromyography study.	Noto Y	神経内科
J Neurol Sci 302(1-2):58-62, 2011	Distal motor axonal dysfunction in amyotrophic lateral sclerosis.	Noto Y	神経内科
神経心理学 27(3): 233-243, 2011	意味記憶障害, 物品使用障害を呈した変性性認知症例の検討.	近藤正樹	神経内科
自律神経 48(1): 40-43, 2011	パーキンソン病における心拍変動スペクトル解析の役割と展望.	丹羽文俊	神経内科
現代鍼灸学 10: 59-64, 2011	パーキンソン病に対する鍼の効果機序.	建部陽嗣	神経内科
Hepato-Gastroenterology. 2011 Mar-Apr:58(106)	Long-term survivors of esophageal carcinoma with distant lymph node metastasis.	岡村 新一	消化器外科
World Journal of Surgery. 2011 Apr:35(4)	Treatment outcome and prognosis of patients with lymph node recurrence of thoracic esophageal squamous cell carcinoma after curative resection.	小菅 敏幸	消化器外科
Hepato-Gastroenterology. 2011 May-Jun:58(107-108)	Clinical evaluation of JCGC and TNM staging on multidetector-row computed tomography in preoperative nodal staging of gastric cancer	川口 耕	消化器外科
ANTICANCER RESEARCH. 2011 Jun:31(6)	NK4 gene expression enhances 5-fluorouracil-induced apoptosis of murine colon cancer cells	大陽 宏明	消化器外科
Gastric Cancer. 2011 Jun:14(2)	Survival benefits from splenic hilar lymph node dissection by splenectomy in gastric cancer patients: relative comparison of the benefits in subgroups of patients.	小菅 敏幸	消化器外科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
British Journal of Cancer. 2011 Jun 28; 105(1)	Circulating microRNAs in plasma of patients with oesophageal squamous cell carcinoma.	小松 周平	消化器外科
Hepato-Gastroenterology. 2011 Jul-Aug;58(109)	Risk factors for postoperative pancreatic fistula in distal pancreatectomy.	村山 康利	消化器外科
World journal of gastrointestinal oncology. 2011 Aug 15;3(8)	Intracellular chloride regulates the G(1)/S cell cycle progression in gastric cancer cells.	塩崎 敦	消化器外科
ONCOLOGY REPORTS. 2011 Sep;26(3)	Pleural lavage with distilled water during surgery for esophageal squamous cell carcinoma.	小菅 敏幸	消化器外科
Journal of Surgical Oncology. 2011 Nov 1;104(6)	Prognostic impact of microscopic positive margin in gastric cancer patients.	長田 寛之	消化器外科
British Journal of Cancer. 2011 Nov. 22;105(11)	Novel diagnostic value of circulating miR-18a in plasma of patients with pancreatic cancer.	森村 玲	消化器外科
Hepato-Gastroenterology. 2011 Nov-Dec;58(112)	The directionality of lymphatic spreading as a prognostic factor in gastric cancer: uni- or multidirectional lymphatic metastases.	北川 真希	消化器外科
Journal of Gastrointestinal Surgery. 2011 Dec;15(12)	Intraoperative Real-Time cholangiography and C-tube drainage in donor hepatectomy reduce biliary tract complications.	落合 登志哉	消化器外科
World Journal of Surgery. 2012 Jan;36(1)	Clinicopathologic features and risk factors for extrahepatic recurrences of hepatocellular carcinoma after curative resection.	落合 登志哉	消化器外科
LANGENBECKS ARCHIVES OF SURGERY. 2012 Jan;397(1)	Esophagogastrostomy using a circular stapler in laparoscopy-assisted proximal gastrectomy with an incision in the left abdomen.	市川 大輔	消化器外科
Digestion. 2012 Jan;85(2)	A new approach to laparoscopic lymph node excision in cases of transverse colon cancer.	中西 正芳	消化器外科
Surgery Today. 2012 Jan;42(2)	Video-assisted surgery for gastric carcinoma arising in a gastric tube reconstructed retrosternally.	塩崎 敦	消化器外科

小計

12



雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
British Journal of Cancer. 2012 Feb 14:106(4)	Detection of gastric cancer-associated micro-RNAs on microRNA microarray comparing pre- and post-operative plasma.	小西 博貴	消化器外科
Journal of Gastrointestinal Surgery. 2012 Mar:16(3)	Difference of the lymphatic distribution and surgical outcomes between remnant gastric cancers and primary proximal gastric cancers.	小松 周平	消化器外科
Esophagus. 2012 Mar:9(1)	Posterior mediastinal lymph node dissection using the pneumomediastinum method for esophageal cancer.	塩崎 敦	消化器外科
Esophagus. 2012 Mar:9(1)	Predictive factors for early recurrence in patients with esophageal squamous cell carcinoma after curative esophagectomy.	清水 浩紀	消化器外科
冠疾患誌 17 2011年	冠動脈バイパス術と脳血管障害.	夜久 均	心臓血管外科
冠疾患誌 17 2011年	冠動脈バイパス術と遅発性脳梗塞	土井 潔	心臓血管外科
冠疾患誌 17 2011年	冠血行再建術後における冠動脈の血管内皮機能	大川和成	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg 142 2011 May	Brief Clinical Report:Seven year outcome of pulmonary valve autograft replacement of the mitral valve in an infant.	Kanzaki T.	心臓血管外科
心臓 第43巻 第6号 2011年6月	虚血性心筋症に対するELIET(endocardial liner infarct exclusion technique)による左室形成術	夜久 均	心臓血管外科
J Biomed Mater Res B Appl Biomater 98(1) 2011 Jul	Long-term animal implantation study of biotube-autologous small-caliber vascular graft fabricated by in-body tissue architecture.	Watanabe T.	心臓血管外科
循環制御 第32巻 第2号 2011年8月	心拍動下冠動脈バイパス周術期にCarperitide投与が著効した非透析高度腎機能低下患者の1例.	糸井亜衣	心臓血管外科
Circulation Journal Vol. 75 No. 9 2011 Sep	Is Human Atrial Natriuretic Peptide (hANP) Effective as an Additive to Cardioplegic Solution During Cardiac Surgery?	Yaku H.	心臓血管外科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
General Thoracic and Cardiovascular Surgery. Vol. 59 No. 11 2011 Nov	Reoperation for prosthetic ventricular septal defect patch endocarditis: long-term results with and autologous atrial septal patch.	Miyazaki T.	心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg 142 2011 Nov	Expanded polytetrafluoroethylene conduits and patches with bulging sinuses and fan-shaped valves in right ventricular outflow tract reconstruction: Multicenter study in Japan.	Miyazaki T.	心臓血管外科
International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery 6(6):803-809 2011	Analysis of surgeon's line of sight using an optical tracking system with a multifaceted marker device.	常塚啓彰、加藤大志朗、下村雅律、伊藤和弘、島田順一	呼吸器外科
Asian Conference on Computer Aided Surgery. PICT3:92-100 2012	Intuitive Touch Panel Navigation System through Kyoto Digital SOSUI Network.	島田順一、加藤大志朗、伊藤和弘、下村雅律、常塚啓彰、岡田悟、石原駿太	呼吸器外科
日本呼吸器外科学会雑誌 25(4):434-437 2011	胸腔鏡下に切除した縦隔血管腫の1例	岡田悟、西村元宏、島田順一	呼吸器外科
日本呼吸器外科学会雑誌 26(2):68-71 2012	リピオドールダブルマーキング法により切除した深部肺小病変の1例	常塚啓彰、加藤大志朗、下村雅律、島田順一	呼吸器外科
Breast Cancer Res Treat.	Development of 95-gene classifier as a powerful predictor of recurrences in node-negative and ER-positive breast cancer patients.	Taguchi T,	内分泌・乳腺外科学
Breast Cancer Res Treat.	BRCA1 promoter methylation in peripheral blood cells is associated with increased risk of breast cancer with BRCA1 promoter methylation.	Taguchi T,	内分泌・乳腺外科学
Cancer	Prediction of pathologic complete response to sequential paclitaxel and 5-fluorouracil/ epirubicin/ cyclophosphamide therapy using a 70-gene classifier for breast cancers.	Taguchi T,	内分泌・乳腺外科学
Clin Calcium	Treatment of bone metastases from breast cancer.	Taguchi T,	内分泌・乳腺外科学
Am J Surg	Indication for sentinel lymph node biopsy for breast cancer when core biopsy shows ductal carcinoma in situ.	Taguchi T,	内分泌・乳腺外科学
Anticancer Res	Phase I study of S-1 in combination with trastuzumab for HER2-positive metastatic breast cancer.	Taguchi T,	内分泌・乳腺外科学

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gan To Kagaku Ryoho	A case of effective combination therapy with docetaxel, cyclophosphamide and trastuzumab as primary systemic therapy for locally advanced HER2-positive breast cancer.	Mizuta N.	内分泌・乳腺外科学
日形会誌 2011, 31:358-363	指骨骨髓炎に対して抗生剤含有セメントスパンサーを用いた治療の経験	武田孝輔、齊藤晋、川端梨乃、鈴木義久。	形成外科
Journal of Plast Reconst Aesthet Surg. 2011, 64:1108-1110	Reconstruction of Larger Nasal Defects Together with the Nasal Lining and the Upper Lip Using the Split-Scalping Forehead Flap:A New Technique.	Sowa Y, Nishino K, Numajiri T.	形成外科
Pediatr Dermatol 2011, 28:424-428	Congenital Vulvar Lipoma within an Accessory Labioscrotal Fold.	Numajiri T, Nishino K, Sowa Y, Konishi K.	形成外科
Br J Oral Maxillofac Surg. 2011, 49:112-115	Blood Gas Analysis in Doubly-vascularised Free Jejunal Transfers	Numajiri T, Sowa Y, Nishino K, Fujiwara H, Nakano H, Shimada T, Nakai S, Hisa Y.	形成外科
J Orthop Res 29: 354-360, 2011.	Intra-articular injection of hyaluronan restores the aberrant expression of matrix metalloproteinase-13 in osteoarthritic subchondral bone	Hiraoka N, Takahashi KA, Arai Y, Sakao K, Mazda O, Kishida T, Honjo K, Tanaka S, Kubo T	整形外科
J Kyoto Pref Univ Med 120: 673-680, 2011.	An easy and stable method to measure the shoulder internal rotation angle	Horii M, Morihara T, Honda H, Kobo S, Komori R, Kushida R, Kawabe S, Kubo T	整形外科
Osteoporosis Jpn 19: 745-750, 2011.	Regional differences in hip fractures in Kyoto Prefecture in 2008: Comparison between femoral neck and trochanteric fractures	Horii M, Tsuji Y, Mikami Y, Fujioka M, Ueshima K, Kondo H, Sukenari T, Kubo T	整形外科
J Orthop Sci 16: 638-643, 2011.	Features of hindfoot 3D kinetics in flat foot in ankle-joint maximal dorsiflexion and plantarflexion	Imai K, Ikoma K, Maki M, Kido M, Tsuji Y, Takatori R, Tokunaga D, Inoue N, Kubo T	整形外科
Foot Ankle Int 32: 1017-1022, 2011.	Load response of the tarsal bones in patients with flatfoot deformity: in vivo 3D study	Kido M, Ikoma K, Imai K, Maki M, Takatori R, Tokunaga D, Inoue N, Kubo T	整形外科
J Spine Res 2: 359-363, 2011.	The efficacy of muscle-preserving interlaminar decompression (MILD) for lumbar spinal canal stenosis in elderly patients—a comparison between patients above 80 years of age and below 60 years of age—	Koyama K, Hatta Y, Sakamoto A, Harada T, Osawa T, Hase H, Tamai K, Mikami Y, Kubo T	整形外科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Magn Reson Imaging 33: 535-542, 2011.	In vivo assessment of peripheral nerve regeneration by diffusion tensor imaging	Morisaki S, Kawai Y, Umeda M, Nishi M, Oda R, Fujiwara H, Yamada K, Higuchi T, Tanaka G, Kawata M, Kubo T	整形外科
J Arthroplasty 26: 1088-1094, 2011.	Preoperative fluoroscopic imaging reduces variability of acetabular component positioning	Nishikubo Y, Fujioka M, Ueshima K, Saito M, Kubo T	整形外科
Tissue Eng Part A 18: 157-166, 2011.	Positive effect on bone fusion by the combination of platelet-rich plasma and a gelatin $\beta$ -tricalcium phosphate sponge: a study using a posterolateral fusion model of lumbar vertebrae in rats	Okamoto S, Ikeda T, Sawamura K, Nagae M, Hase H, Mikami Y, Tabata Y, Matsuda KI, Kawata M, Kubo T	整形外科
Biomedicine and Pharmacotherapy 65: 224-229, 2011.	Effect of light-emitting diode (LED) therapy on development of osteoarthritis (OA) in a rabbit model	Oshima Y, Coutts R.D, Badlani N.M, Healey R.M, Kubo T, Amiel D	整形外科
Orthopedics 34: 659-663, 2011.	Use of a rugby helmet brace for postoperative treatment of muscular torticollis	Yamada N, Kim WC, Hosokawa M, Yoshida T, Mouri H, Oka Y, Kotoura Y, Nakase M, Nishida A, Kusakabe T, Kubo T	整形外科
J Orthop Res Epub 2011.	Combined microwave irradiation and intraarticular glutamine administration-induced HSP70 expression therapy prevents cartilage degradation in a rat osteoarthritis model	Fujita S, Arai Y, Nakagawa S, Takahashi KA, Terauchi R, Inoue A, Tonomura H, Hiraoka N, Inoue H, Tsuchida S, Mazda O, Kubo T	整形外科
Inflammation Epub 2011.	Lansoprazole inhibits nitric oxide and prostaglandin E2 production in murine macrophage RAW 264.7 cells	Nakagawa S, Arai Y, Kishida T, Hiraoka N, Tsuchida S, Inoue H, Sakai R, Mazda O, Kubo T	整形外科
Connect Tissue Res Epub 2011.	Immunohistochemical analysis of the effects of estrogen on intraarticular neurogenic inflammation in a rat anterior cruciate ligament transection model of osteoarthritis.	Yoshida A, Morihara T, Matsuda K, Sakamoto H, Arai Y, Kida Y, Kawata M, Kubo T.	整形外科
Int J Gynecol Cancer 21:609-615, 2011	Estrogen-Related Receptor $\alpha$ Expression and Function Are Associated With Vascular Endothelial Growth Factor in Human Cervical Cancer	Mori T, Sawada M, Kuroboshi H, Tatsumi H, Katsuyama M, Iwasaku K, Kitawaki J.	産婦人科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Eur J Gynaecol Oncol 32:325-327, 2011	Lymphoepithelial-like carcinoma of the uterine cervix; a case report	Mori T, Sawada M, Matsuo H, Kuroboshi H, Tatsumi H, Iwasaku K, Kitawaki J.	産婦人科
Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol 157:212-216, 2011	Maintenance therapy with dienogest following gonadotropin-releasing hormone agonist treatment for endometriosis-associated pelvic pain	Kitawaki J, Kusuki I, Yamanaka K, Suganuma I.	産婦人科
J Obstet Gynaecol Res 37:1706-1710, 2011	Primary extraskeletal myxoid chondrosarcoma of the vulva	Sawada M, 1: Sawada M, Tochigi N, Sasajima Y, Hasegawa T, Kasamatsu T, Kitawaki J.	産婦人科
Arch Gynecol Obstet 285:887-890, 2012	Uterine perforation with omentum incarceration after dilatation and evacuation/curettage: magnetic resonance imaging findings.	Koshiha A, Koshiha H, Noguchi T, Iwasaku K, Kitawaki J.	産婦人科
Fertil Steril 97:477-482, 2012	Dienogest inhibits aromatase and cyclooxygenase-2 expression and prostaglandin E2 production in human endometriotic stromal cells in spheroid culture.	Yamanaka K, Xu B, Suganuma I, Kusuki I, Mita S, Shimizu Y, Mizuguchi K, Kitawaki J.	産婦人科
Cancer Lett 309(2):185-9, 2011	Preoperative analysis of 11q loss using circulating tumor-released DNA in serum: A novel diagnostic tool for therapy stratification of neuroblastoma.	柳生茂希	小児発達医学
Biochem Biophys Res Commun 413(1):62-8, 2011	Sensitivity of malignant rhabdoid tumor cell lines to PD 0332991 is inversely correlated with p16 expression.	勝見良樹	小児発達医学
Bone Marrow Transplant.	Dermatomyositis developed in a recipient of allogeneic BMT: the differentiation of chronic GVHD and autoimmune disease.	坂本謙一	小児発達医学
Pediatr Res 69(3):249-254, 2011	Development of corpus callosum in preterm infants is affected by the prematurity: in vivo assessment of diffusion tensor imaging at term-equivalent age.	長谷川龍志	小児発達医学
日本小児科学会雑誌 115(1):97-101, 2011	IL-5の著明な高値を認めた特発性好酸球増多症の1例	坂本謙一	小児発達医学
日本小児血液学会誌 25(3):140-145, 2011	ダブルバルーン小腸内視鏡にて診断・止血しえた、同種造血幹細胞移植後の多発性小腸潰瘍による小腸出血の7歳男児例	平嶋良章	小児発達医学
日本小児血液学会雑誌 25(4):206-211, 2011	オンマイヤリザーバー留置による脳室内抗癌剤投与の経験	坂本謙一	小児発達医学

小計

12

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
日本脊椎関節炎学会雑誌 3(1) : 77-83, 2011	若年発症の脊椎関節炎の4例 小児期の臨床像について	秋岡親司	小児発達医学
日本小児血液学会誌 25(3) : 146-151, 2011.	完全キメラ状態での長期骨髄不全に対して末梢血幹細胞輸注を必要とした再生不良性貧血.	石田宏之	小児発達医学
Circulation Journal 2011 Sep 22:75(10)	Dynamics of reactive oxygen metabolites and biological antioxidant potential in the acute stage of Kawasaki disease	八幡 倫代	小児循環器・腎臓科
Cardiology in the young. 2011 Oct:21(5)	Subtype of pulmonary artery sling with ventricular septal defect	浅田 大	小児循環器・腎臓科
Nephron Extra 2012 Jan:2(1)	The role of apelin on the alleviative effect of Angiotensin receptor blocker in unilateral ureteral obstruction-induced renal fibrosis	西田 眞佐志	小児循環器・腎臓科
American Journal of Ophthalmology	Amino Acid profiles in human tear fluids analyzed by high-performance liquid chromatography and electrospray ionization tandem mass spectrometry	Nakastukasa M	眼科
British Journal of Ophthalmology	Prostaglandin E receptor subtype EP3 downregulates TSLP expression in human conjunctival epithelium	Ueta M	眼科
British Journal of Ophthalmology	Prostaglandin E2 suppresses polyinosine-polycytidylic acid (polyI:C)-stimulated cytokine production via prostaglandin (EP) 2 and 3 in human conjunctival epithelial cells	Ueta M	眼科
British Journal of Ophthalmology	Long-term results of autologous cultivated oral mucosal epithelial transplantation in the scar phase of severe ocular surface disorders	Nakamura T	眼科
British Journal of Ophthalmology	Enhancement of corneal endothelium wound healing by a ROCK inhibitor eye drop	Okumura N	眼科
British Journal of Ophthalmology	The blood-aqueous barrier breakdown in eyes with endothelial decompensation after argon laser iridotomy	Higashihara H	眼科
British Journal of Ophthalmology	Predictive factors of resolved retinal fluid after intravitreal ranibizumab for polypoidal choroidal vasculopathy	Koizumi H	眼科
British Journal of Ophthalmology	Endothelin-1 production upon polyI:C stimulation of human conjunctival epithelium	Ueta M	眼科

小計

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cornea	Prostaglandin E2 Suppresses PolyI:C-Stimulated Cytokine Production via EP2 and EP3 in immortalized human corneal epithelial cells	Ueta M	眼科
Cornea	The New Therapeutic Concept of Using a Rho Kinase (ROCK) Inhibitor for the Treatment of Corneal Endothelial Dysfunction	Okumura N	眼科
Current Opinion in Ophthalmology	New hopes and strategies for the treatment of severe ocular surface disease	Nakamura T	眼科
Experimental Eye Research	Development of new therapeutic modalities for corneal endothelial disease focused on the proliferation of corneal endothelial cells using animal models	Koizumi N	眼科
Eye & Contact Lens	Two presentations of upper lid migration of rigid gas-permeable contact lenses	Watanabe A	眼科
Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology	Subfoveal choroidal thickness in typical age-related macular degeneration and polypoidal choroidal vasculopathy	Koizumi H	眼科
Clinical and Experimental Ophthalmology	Interferon treatment possibly induced endogenous mycotic endophthalmitis	Cho Y	眼科
Journal of Refractive Surgery	AcrySof IQ Toric IOL Implantation Combined With Limbal Relaxing Incision During Cataract Surgery for Eyes With Astigmatism > 2.5D	Ouchi M	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology	Expression of interleukin-4 receptor $\alpha$ in human corneal epithelial cells	Ueta M	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology	Infectious keratitis caused by fluoroquinolone-resistant <i>Corynebacterium</i>	Fukumoto A	眼科
Molecular Vision	Two novel mutations of TACSTD2 found in three Japanese gelatinous drop-like corneal dystrophy families with their aberrant subcellular localization	Nakatsukasa M	眼科
PLoS ONE	Prostaglandin E Receptor Subtype EP3 Expression in Human Conjunctival Epithelium and Its Changes in Various Ocular Surface Disorders	Ueta M	眼科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Comparison Study Of The IOP Reduction Efficacy And Safety Between Latanoprost And Tafluprost In Japanese Normal Tension Glaucoma Patients	Tada K	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Candidate Gene Analysis of Primary Open-Angle Glaucoma in a Japanese Population using a Custom Chip	Ikeda Y	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science	FP Localization and Expression in Ocular Tissue.	Imai K	眼科
Journal of Allergy and Clinical Immunology	Epistatic interaction between Toll-like receptor 3 (TLR3) and prostaglandin E receptor 3 (PTGER3) genes	Ueta M	眼科
Archives of Ophthalmology	Downregulation of monocyte chemoattractant protein 1 expression by prostaglandin E(2) in human ocular surface epithelium	Ueta M	眼科
Journal of Investigative Dermatology	IL-21 reduces immediate hypersensitivity reactions in mouse skin by suppressing mast	Tamagawa-Mineoka R	皮膚科学
Burns	Early depth assessment of local burns by videomicroscopy -24 hr after injury is a critical time point-	Katoh N	皮膚科学
Curr Opin Urol. 21(4): 303-308, 2011.	Laparoendoscopic single-site surgery for pediatric patients in urology.	Kawauchi A, Naitoh Y, Miki T.	泌尿器科
BJU Int. 107(5):791-798, 2011.	Analysis of nocturia with 24-h urine volume, nocturnal urine volume, nocturnal bladder capacity and length of sleep duration: concept for effective treatment modality.	Nakao M, Honjo H, Ukimura O, Kawauchi A, Miki T.	泌尿器科
Urol Int. 87(1):28-34, 2011.	Optimal Duration of Androgen Deprivation in Combination with Radiation Therapy for Japanese Men with High-Risk Prostate Cancer.	Takaha N, Okihara K, Kamoi K, Kimura Y, Yamada T, Kawauchi A, Miki T.	泌尿器科
Int J Urol. 18(5):341-349, 2011	Neuroselective measure of the current perception threshold of A-delta and C-fiber afferents in the lower urinary tract	Fujihara A, Ukimura O, Iwata T, Miki T.	泌尿器科
Urol Int. 87(3):263-269, 2011.	Feasibility of Tri-Weekly Docetaxel-Based Chemotherapy for Elderly Patients (Age 75 and Older) with Castration-Resistant Prostate Cancer	Takaha N, Okihara K, Kamoi K, Hongo F, Iwata T, Yano K, Ueda T, Takeuchi I, Yamada T, Kawauchi A, Miki T.	泌尿器科

小計



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Jpn J Clin Oncol. 41 (8) :1023-1030, 2011.	Combined Immunotherapy with Low-Dose IL-2 Plus IFN-[alpha] for Metastatic Renal Cell Carcinoma: Survival Benefit for Selected Patients with Lung Metastasis and Serum Sodium Level	Miki T	泌尿器科
Urology 79 (2) :483. e7-12, 2012.	Efficacy of neuroselective and site-specific nociceptive stimuli of rat bladder.	Yamada Y, Ukimura O, Miki T	泌尿器科
Oncol Rep.	RB1CC1 activates the p16 promoter through the interaction with hSNF5.	Ochi Y, Ikebuchi K, Arai A, Tameno H, Shimada T, Hisa Y,	耳鼻咽喉科
Cancer Res.	RECQL1 and WRN proteins are potential therapeutic targets in head and neck squamous cell carcinoma.	Arai A, Ikebuchi K, Tameno H, Ochi Y, Shimada T, Hisa Y,	耳鼻咽喉科
J Comp Neurol.	Axonal projections of medullary swallowing neurons in guinea pigs.	Sugiyama Y, Hisa Y.	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx.	A case report of HTLV-I associated myelopathy presenting with cerebellar ataxia and nystagmus.	Taki M, Nin F, Hasegawa T, Sakaguchi H, Suzuki T, Hisa Y,	耳鼻咽喉科
Journal of Psychiatric Research 45(5) : 687-690, 2011 May.	Diffusion tensor imaging and tract-based spatial statistics in obsessive-compulsive disorder.	Nakamae T	精神科・心療内科
Journal of Pain and Symptom Management 41(2) : 491-495, 2011 Feb.	Shades of Truth: Cultural and psychological Factors Affecting Communication in Pediatric Palliative Care.	Hatano Y	精神科・心療内科
Journal of Neuropsychiatry and Clinical Neurosciences 23(4) : E29-30, 2011 Fall.	Jealous delusions and dysfunction of the right parietal lobe in early-onset Alzheimer's disease.	Matsuoka T	精神科・心療内科
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry 35(4) : 997-1001, 2011 Jun.	Anterior insular volume is larger in patients with obsessive-compulsive disorder.	Nishida S	精神科・心療内科
Psychiatry and Clinical Neurosciences 65(3) : 272-279, 2011 Apr.	Parental bonding in patients with eating disorders and self-injurious behavior.	Fujimori A	精神科・心療内科
European Psychiatry 26(7) : 463-469, 2011 Oct.	Corticostriatal functional connectivity in non-medicated patients with obsessive-compulsive disorder.	Sakai Y	精神科・心療内科

小計

12

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychosomatics 52(5) : 478-481 , 2011 Sep-Oct.	A case of anorexia nervosa complicated by brain abscess due to sepsis after pneumonia.	Mizuhara Y	精神科・心療内科
老年精神医学雑誌 23(1) : 74-79, 2012 1月.	成年後見用診断書の様式に関する全国調査.	成本 迅	精神科・心療内科
Evidence-based Complementary and Alternative Medicine (eCAM) 2012, Article ID 245091, 5 pages.	Effect of toki-shakuyaku-san on regional cerebral blood flow of patients with mild cognitive impairment and Alzheimer's disease.	Matsuoka T	精神科・心療内科
日本歯科保存学会雑誌. 54(2):88-96, 2011.	$\beta$ -cryptoxanthin がメカニカルストレスに対する歯根膜のサイトカイン産生に与える影響	山本俊郎	歯科
Web Journal Anti-Aging Medicine. 9(1):14-23, 2012.	Dental regenerative therapy using oral tissues.	Kanamura N	歯科
General Thoracic and Cardiovascular Surgery	Reoperation for prosthetic ventricular septal defect patch endocarditis:long-term results with an autologous atrial septal patch.	宮崎 隆子	小児心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg	Expanded polytetrafluoroethylene conduits and patches with bulging sinuses and fan-shaped valves in right ventricular outflow tract reconstruction:Multicenter study in Japan.	宮崎 隆子	小児心臓血管外科
J Thorac Cardiovasc Surg	Seven-year outcome of pulmonary valve autograft replacement of the mitral valve in an infant.	神崎 智仁	小児心臓血管外科
Annals of Surgical Oncology 18:1891-1898, 2011	OSNA-Based novel molecular testing for lymph node metastases in colorectal cancer patients: Results from a multicenter clinical performance study in Japan	Yamamoto H, Yanagisawa A.	人体病理学
Cancer 117:4365-4374, 2011	Intraoperative molecular assay for sentinel lymph node metastases in early stage breast cancer	Osako T, Yanagisawa A.	人体病理学
Clinical Transplantation 25:Suppl. 49-52, 2011	Overlapped glomerular lesions of chronic rejection and recurrent lupus nephritis in transplanted kidney: a case report	Masuzawa N, Yanagisawa A.	人体病理学
Esophagus 8:315-320, 2011	Severe late toxicities after definitive chemoradiotherapy	Kato K, Yanagisawa A.	人体病理学

小計

12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Journal of Orthopaedic Science 16:119-124, 2011	Intramedullary spinal cord metastasis following spontaneous malignant transformation from giant cell tumor of bone 16 years after pulmonary metastasis	Ozaki T, Konishi E.	人体病理学
Journal of Gastroenterology 46:65-72, 2011	Efficacy of magnifying endoscopy with flexible spectral imaging color enhancement in the diagnosis of colorectal tumors	Yoshida N, Yanagisawa A.	人体病理学
Journal of Gastroenterology and Hepatology 26:286-291, 2011	Efficacy of hyaluronic acid in endoscopic mucosal resection of colorectal tumors	Yoshida N, Yanagisawa A.	人体病理学
Pancreas 40:67-71, 2011	Clinicopathological features and prognosis of mucinous cystic neoplasm with ovarian-type stroma. A multi-institutional study of the Japan Pancreas Society	Yamao K, Yanagisawa A.	人体病理学
Pancreas 40:364-370, 2011	Natural History of Branch Duct Intraductal Papillary Mucinous Neoplasms of the Pancreas	Maguchi H, Yanagisawa A.	人体病理学
Pathology International 61:572-576, 2011	Greater age and hepatocellular aging are independent risk factors for hepatocellular carcinoma arising from non-B non-C non-alcoholic chronic liver disease	Nakajima T, Yanagisawa A.	人体病理学
Pancreas, 2012	Japan Pancreatic Cancer Registry: 30th Year Anniversary (Japan Pancreas Society)	Egawa S, Yanagisawa A.	人体病理学
Pancreas 41:380-387, 2012	Multicenter Study of Serous Cystic Neoplasm of the Japan Pancreas Society	Kimura W, Yanagisawa A.	人体病理学
World Journal of Gastrointestinal Pathophysiology 3:51-59, 2012	Importance of histological evaluation in endoscopic resection of early colorectal cancer	Yoshida N, Yanagisawa A.	人体病理学
World Journal of Surgical Oncology 10, 2012	Myoid Hamartoma of the Breast that Proved Difficult to Diagnose: A case report	Mizuta N, Yasukawa S, Konishi E.	人体病理学
International Journal of Colorectal Disease. 27:605-611	The detection of surface patterns by flexible spectral imaging color enhancement without magnification for diagnosis of colorectal polyps	Yoshida N, Yanagisawa A.	人体病理学

小計

11

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Int J Hematol 2011, 94:169-177	Clinical utility of the neutrophil distribution pattern obtained using the CELL-DYN SAPPHERE hematology analyzer for the diagnosis of myelodysplastic syndrome	稲葉 亨	臨床検査部
Eur J Echocardiogr 2011;12:430	Three-dimensional transoesophageal echocardiography in detailed evaluation of cor triatriatum	山野 哲弘	臨床検査部

小計  
2  
計  
204

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 三木 恒治
管理担当者氏名	事務部長 荒田 均

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録  病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		診療情報管理室 各診療科外来 病棟 調剤室 フィルム庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年1月から電子カルテシステムを導入し、電子データでの管理を行っている。</li> <li>・手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等は、カルテに整理して、診療情報管理室に保管。</li> <li>・通院・入院中のアクティブカルテについては、各診療科の外来・病棟で保管。</li> <li>・処方箋は調剤室に、エックス線写真はフィルム庫で保管。</li> </ul>
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の実績	病院経営企画室	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課	
	高度の医療の研修の実績	病院管理課	
	閲覧実績	病院管理課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院経営企画室	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院経営企画室 薬剤部	
項規 第一 第一 号に 掲げ る十 一 体第一 項各 号の 及び 第九 条の 二十三 第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理 及び諸記 営る	規則第一条の十一 第一項各号及び第九 条の二十三第一項 第一号に掲げる体 制の確保の状況	院内感染対策のための 指針の策定状況	感染対策部
		院内感染対策のための 委員会の開催状況	感染対策部
		従業者に対する院内感 染対策のための研修の実 施状況	感染対策部
		感染症の発生状況の報 告その他の院内感染対策 の推進を目的とした改善 のための方策の実施状況	感染対策部
		医薬品の使用に係る安 全な管理のための責任者 の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品 の安全使用のための研修 の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めの業務に関する手順書 の作成及び当該手順書に 基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のた めに必要となる情報の収 集その他の医薬品の安全 使用を目的とした改善の ための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用の ための責任者の配置状況	医療機器管理部
		従業者に対する医療機 器の安全使用のための研 修の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の保守点検に 関する計画の策定及び保 守点検の実施状況	医療機器管理部
		医療機器の安全使用の ために必要となる情報の 収集その他の医療機器の 安全使用を目的とした改 善のための方策の実施状 況	医療機器管理部 医療安全管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び  
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院管理課長 西垣 義郎
閲覧担当者氏名	病院管理課副課長 田川 裕隆
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課 総務調整担当

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	58.2 %	算定期間	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,204人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	9,155人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,704人	
	D: 初診の患者の数	32,214人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

## 規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全管理のための基本的な考え方</li> <li>○ 安全管理のための組織</li> <li>○ 医療事故発生時の対応</li> <li>○ 医療事故及びインシデント報告制度</li> <li>○ 職員の教育・研修及び啓発</li> <li>○ 患者相談窓口</li> </ul> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全管理のための指針の策定及び変更</li> <li>○ 院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施</li> <li>○ 安全管理のための教育・研修及び啓発の検討</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療コンフリクト・マネジメントについて</li> <li>○ 急変対応について</li> <li>○ 他院の事例から考えるインシデント対策</li> <li>○ 災害対応について</li> <li>○ 医療倫理について</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備 ((有) ・ 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療安全のための院内調査ラウンドの実施</li> <li>○ 職員間での情報共有と注意喚起のための、インシデント事例等を掲載した「医療安全管理部レター」の発行</li> <li>○ インシデント事例を記載した「医療管理部ファイル」の作成、供覧</li> <li>○ 人工呼吸器のリスク管理のための、チームによる院内ラウンドの実施</li> </ul> </li> </ul>	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) ( 1 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) ( 1 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任( 1 )名 兼任( 7 )名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療事故、インシデントに係る報告のとりまとめ</li> <li>○ 医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析</li> <li>○ 安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導</li> <li>○ 安全管理のための教育、研修の実施</li> <li>○ 安全対策の推進</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	(有) ・ 無



## 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	① 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的考え方 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本的事項</li> <li>・ 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針</li> <li>・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>・ 患者等の対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： 感染症発生状況（対応状況も含む） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む）</li> <li>・ 抗MRSA薬等の使用状況報告（適正使用に関する始動状況も含む）</li> <li>・ その他院内感染対策の推進に関する方策の検討</li> </ul> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結核</li> <li>・ ワクチン予防</li> <li>・ インフルエンザ関連</li> <li>・ 抗菌薬の適正使用</li> <li>・ 手指衛生と感染予防対策</li> </ul> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (① 有 ・ 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： 医師部門に「感染対策推進医師」を、看護部門に「リンクナース」をそれぞれ配置し、感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスや電子メール配信等の手段により随時周知徹底を図っている。</li> </ul>	

## 医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>看護師対象「医薬品の剤形、包装をめぐる最近の話題」          全職員対象「チームでやる抗菌薬適正使用」          看護師対象「PhaSealについて」          全職員対象「STOP! メディケーションエラー」</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有) ・ 無 )</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>業務手順書に基づく定期的な業務チェックと手順書の改定</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無 )</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医薬品安全管理委員会 (月2回 第二・第四火曜日)          アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有化と過誤防止対策</p> <p>&lt;今年度の改善事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PhaSeal導入による職業被曝の防止</li> <li>・ safe DIによる医薬品安全性情報の全職員への周知</li> </ul>	

## 医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 13 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> <li>新規導入機器（人工呼吸器、患者監視装置など）に対する安全使用研修会 人工心肺装置と治療 看護の統合と実践「ME機器の理論の操作」</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の作成 (○有) ・ 無)</li> <li>・ 保守点検の主な内容：</li> <li>特定保守管理機器の定期点検(人工心肺、人工呼吸器、血液浄化装置など) 医療機器(約4600台)の定期点検計画策定と実施</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有) ・ 無)</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> <li>医療安全管理部と機器・器具に関する情報の連携と病棟などへの通達・指導 医療機器管理部職員、MEセンター職員への情報伝達(Meeting) 医療機器業者との情報伝達方法の経路確立 PMDA情報のMEセンター集約・一元化</li> </ul>	